

十戒シリーズ: 第四戒 “安息日を聖なる日とせよ”

「神の日を大切にする」

出エジプト記 20:8～11

2017.05.28 HKJCF

1

概観

十戒の第四戒を通して、時間と健康の管理、仕事に対する姿勢、神様と隣人の関係について、クリスチャンとして正しい生活のリズムを学んでいきたい。

アウトライン

1. 安息日について V8
2. 時間と仕事について V9-V10
3. 休みについて V11
4. 適用: 主日について

2

1. 安息日について V8

- 1) **安息日**: 創造が起源(創世記 2:1-3)。神様が示してくださった**模範**＝「神様のように」。
- 2) **覚える**: イサクの犠牲(創世記 22:13-14)、マナが与えられていた(出エジプト記 16:22-30)。神様への信頼が大事(**アドナイ・イルエ**)。
- 3) **聖なる日とする**: 一日仕事をせず、その日を**聖別**し、神様と過ごす。束縛ではなく、**恵み**。体を休め、ルーチンからの解放。
- 4) **安息日規定**: 違反者に**死刑**(出エジプト記 31:12-14; 民数記 15:32-36)。

3

2. 時間と仕事について V9-V10

- 1) **6+1: 生活のリズムと健康の管理**。
- 2) **時間の管理**: すべて、時間も**神様のもの**。**効率**: 一週間の業務を六日で完成。
- 3) **仕事**: 奴隷のようにではなく、**管理者**として(創世記 2:15); **祝福のチャンネル**として。
- 4) **人間、家畜、土地まで**: 被造物に対する神様の**恵みの命令**(レビ記 25:3-5; 25:10)。
- 5) **現代の解釈**: **主日**として、**十字架と復活**(コロサイ 2:16-17; ヘブル 10:24-25)。

4

3. 休みについて V11

- 1) **最初の仕事**: 神様と創造を一緒に**楽しむ**。
- 2) **神様との関係**: 創造主-被造物、所有者-管理者の関係。御国の拡大、平和の拡散の**同労者**として認識する。
- 3) **隣人との関係**: この戒めは、十戒の一部と二部をつなぐ。**平和をつくる者**として(マタイ 5:9; ローマ12:18); **知恵**が必要(ヤコブ 3:17-18)。
- 4) **シャローム**: 詩篇1:1-3の正しい者のように、**生ける水**が与えられ、**繁栄**される。肉、心、霊が共に**満た**されている状態。

5

4. 適用: 主日について

三つのR、を適用として考えたい:

- 1) **Reflect**: **創造と救いを思い巡らす**
神様の御業を覚えるため、神様への信頼が成長するため(出エジプト記 20:11; 申命記 5:15)。
- 2) **Rest**: **神の臨在の中で憩う**
神に愛され、神の安息に入っていることを忘れず、神との交わりを大事に(ヘブル 4:9-10)。
- 3) **Relationship**: **隣人との関係を築く**
教会との関係を喜び、神の安息に入っていない人のためにかけ橋として(ヘブル 4:11)。

6